2024年3月期 第2四半期 決算説明会

決算説明および成長戦略

三浦工業株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO 宮内大介 2023年11月22日





1	2024年3月期 第2四半期業績	3
2	2024年3月期 通期見通し	13
3	株主還元	17
4	中国事業の進捗と今後の見通し	19
5	メンテナンス事業の進捗 〜コンプレッサおよびランドリー事業〜	29
6	Appendix	35

注意事項

本資料のうち、今後の計画・見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値とは異なる場合があります。掲載内容には、細心の注意を払っておりますが、掲載された内容に基づいて被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

MIURA CO.,LTD. All Rights Reserved.



1. 2024年3月期 第2四半期業績

三浦工業株式会社 代表取締役 専務執行役員 管理統括本部長 廣井 政幸



<ifrs></ifrs>	単位	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年 同期比	2024年3月期 2Q 計画	2024年3月期 通期計画
売上収益	億円	692	701	+9	712	1,515
営業利益	億円	93	98	+5	104	221
営業利益率	%	13.5	14.1	+0.6	14.6	14.6
税引前利益	億円	102%	120	+18	116	246
親会社の所有者に 帰属する当期利益	億円	74%	89	+15	85	180
1株当たり当期利益	円	65※	80	+15	75	159
配当	円	19	23	+4	22	49

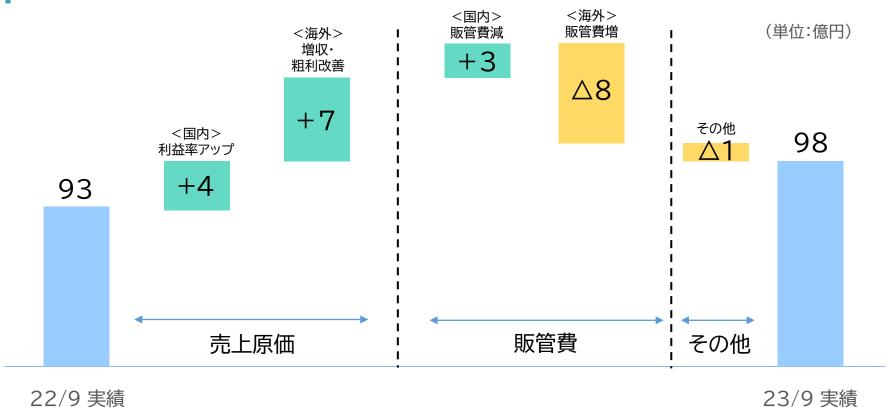
概要

- ・国内は、ボイラ及び関連機器やアクア機器、コンプレッサの販売が堅調に推移。アイナックス稲本の持分法適用会社化により、売上が減少。
- ・海外は、ボイラ販売が韓国やアメリカ、中国で堅調に推移し、売上増加
- ・国内、海外共に、メンテナンス事業は有償保守契約の増加により売上増加

※2023年3月期第3四半期において、持分法適用会社であるコベルコ・コンプレッサ株式会社における持分法適用会社化に 係る暫定的な会計処理が確定したため、2023年3月期第2四半期の連結財務諸表を遡及修正しております。



営業利益増減要因(前年同期差)



※ランドリー事業の中心となっていたアイナックス稲本株式会社(以下アイナックス稲本)が持分法適用会社となったことに伴うセグメント区分の見直しにより、2024年3月期第2四半期よりランドリー事業を国内事業に含めております。

- ・国内は売上構成の変化や販管費の減少により利益が増加
- ・海外は増収だが、営業活動の活発化などで販管費増加により利益が減少

MIURA CO., LTD. All Rights Reserved.



セグメント別 ※22/9…2023年3月期2Q 、23/9…2024年3月期2Q

単位:億円 単位:億円 単位:%

+ [18]・山中				十四・岡コ				1 122 70				
		売上	収益			営業利益			営業利益率			
	22/9	23/9	前年同期比	2Q 計画	22/9	23/9	前年同期比	2Q 計画	22/9	23/9	前年同期比	2Q 計画
国内機器販売 ※	346	329	△17	336	22	26	+4	34	6.2	8.0	+1.8	10.0
国内メンテナンス	186	198	+12	188	53	56	+3	49	28.6	28.3	△0.3	26.1
海外機器販売	113	120	+7	140	11	10	△1	14	10.4	8.4	Δ2	10.1
海外メンテナンス	45	52	+6	48	7	7	0	7	16.0	14.0	Δ2	14.8
合計	692	701	+9	712	93	98	+5	104	13.5	14.1	+0.6	14.6

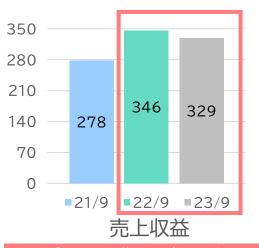
※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期 第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。 それに伴い、2023年3月期第2四半期のセグメントを遡及修正しております。

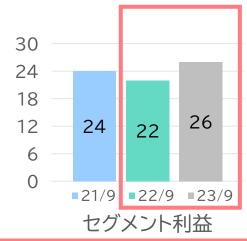


セグメント別(前年同期比)第2四半期

(単位:億円)

【国内機器販売事業】売上収益:前年比 △5.0% 、セグメント利益:前年比 +16.6%

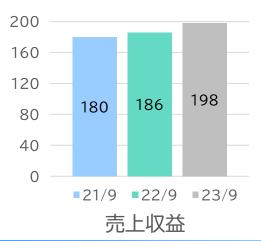


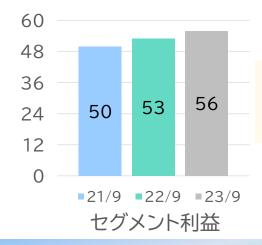


- ・小型貫流ボイラ及び関連機器、アクア機器やコンプレッサの販売が堅調に推移した一方、アイナックス稲本が持分法適用会社となった影響により売上が減少
- ・原材料価格の上昇や営業活動に伴 う費用が増加したが、アイナックス 稲本が持分法適用会社となった影 響や大規模な設備工事により増益

※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期 第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。 それに伴い、2023年3月期第2四半期のセグメントを遡及修正しております。

<u> 【国内メンテナンス事業】売上収益:前年比 +6.8% 、セグメント利益:前年比 +6.0%</u>





・有償保守契約件数や舶用機器の部 品販売増加により売上、利益とも に増加



セグメント別(前年同期比)第2四半期

(単位:億円)

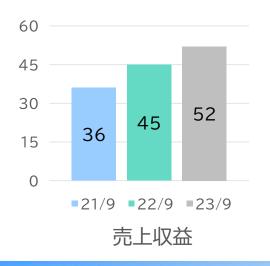
【海外機器販売事業】売上収益:前年比+6.2%、セグメント利益:前年比 △15.0%

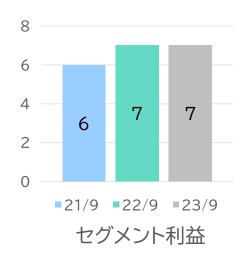




- ・韓国やアメリカ、中国でボイラ販売 が堅調に推移し、売上増加
- ・人件費の増加や営業活動の活発化 の影響による販管費の増加により 減益

【海外メンテナンス事業】売上収益:前年比 +14.5% 、セグメント利益:前年比 +0.3%





- ・各国での有償保守契約の積極的 な取得により売上増加
- ・人件費の増加や行動制限解除の 影響により販管費が増加したが、 増収効果もあり微増



事業別 売上高

(単位:億円)

					(
		2022年3月期 2Q(実績)	2023年3月期 2Q(実績)	2024年3月期 2Q(実績)	前年 同期比
	ボイラ	295	296	318	+22
	アクア(水処理機器)	32	33	38	+5
_	舶用	44	53	53	±0
国内	食機・メディカル	58	59	63	+4
L A	ランドリー	66	- <u>*</u>	- ※	- ※
	その他 (ランドリー・特機・新事業開発・環境等)	30	92※	56※	∆36※
	国内 計	525	533	528	∆5
	【ご参考】 アイナックス稲本含むランドリー	65	63	102	+39

- ・小型貫流ボイラ及び関連機器、アクア機器やコンプレッサの販売が堅調に推移
- ・アイナックスが持分法適用会社となった影響により売上減少

※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期 第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。それに伴い、2023年3月期第2四半期のセグメントを遡及修正しております。



事業別 売上高

(単位:億円)

		2022年3月期 2Q (実績)	2023年3月期 2Q (実績)	2024年3月期 2Q (実績)	前年 同期比
	米州(アメリカ・カナタ゛・フ゛ラシ゛ル・メキシコ)	30	45	50	+5
海	韓国	38	37	43	+6
海外	中国	44	47	50	+3
	その他(ASEANほか)	24	28	28	±0
	海外 計	137	159	173	+14

- ・韓国や中国でボイラ販売が堅調に推移し、売上増加
- ・各国での有償保守契約の積極的な取得により売上増加



連結財政状態計算書(バランスシート)

(単位:億円)

	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前年 同期比
流動資産	1,292	1,254	∆38
現金および現金同等物	366	311	△55
営業債権	397	420	+23
その他の金融資産	201	191	△10
棚卸資産	299	308	+9
その他流動資産	27	23	△4
非流動資産	956	1,010	+54
資産合計	2,249	2,265	+16
流動負債	495	473	△22
営業債務	140	117	∆23
その他	355	356	+1
非流動負債	72	48	△24
負債合計	567	522	∆45
資本合計	1,681	1,742	+61

- ・2022年11月から行った自 己株式の取得により現金およ び現金同等物が減少
- ・アイナックス稲本が連結子会 社から持分法適用会社となっ たことに伴う影響



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前年 同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	40	65	+25
持分法による投資損益	△5	△11	∆6
棚卸資産の増減額	△55	△27	+28
営業債務及びその他の債務の増減額	∆22	△6	+16
その他	122	109	∆13
投資活動によるキャッシュ・フロー	∆35	20	+55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47	△103	△56
自己株式の取得による支出	△0	△54	△54
その他	△47	△49	∆2
現金及び現金同等物期首残高	400	320	△80
現金及び現金同等物期末残高	366	311	△55

- ・営業活動では、棚卸資産の増加額が減少
- ・投資活動では、定期預金の預入れが前年同期比に比べ減少
- ・財務活動では、2022年11月から行った自己株式の取得により減少



2. 2024年3月期 通期見通し

MIURA CO.,LTD. All Rights Reserved.



通期見通し 修正なし

	単位	2023年3月期	2024年3月期 計画	前年同期比
売上収益	億円	1,583	1,515	△68
営業利益	億円	219	221	+2
営業利益率	%	13.8	14.6	+0.8
税引前利益	億円	234	246	+12
親会社の所有者に帰属する当期利益	億円	168	180	+12
1株当たり当期利益	円	149	159	+10

		売上収益	営業利益			
	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	増減	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	増減
国内機器販売	837	716	△121	73	71	Δ2
国内メンテナンス	386	400	+14	102	105	+3
海外機器販売	265	297	+32	30	30	0
海外メンテナンス	96	102	+6	14	15	+1
合計	1,583	1515	△69	219	221	+2



事業別 内訳に修正あり

(単位:億円)

					(1 122 1/6/1 37
	事業・地域	2023年3月期 実績	2024年3月期 当初計画	2024年3月期 修正計画 ※1	修正計画 増減
国	ボイラ	674	697	697	_
内	アクア(水処理機器)	76	82	82	_
	舶用	98	98	98	_
	食機・メディカル	129	135	135	_
	その他(ランドリー・特機・新事業開 発・環境等)	246	104	104	_
	国内計	1,223	1,116	1,116	_
海外	米州	102	111	111	_
外	韓国	90	94	103	+9
	中国	104	117	108	△9
	その他(ASEANほか)	65	76	76	_
	海外計	361	399	399	_
合計		1,583	1,515	1,515	_

※1 修正計画は第2四半期決算で使用した為替レートで算出しております。



16

通期見通し変更理由(海外)

地域	変更理由	
米州	・アメリカは販売店との連携強化などで堅調に進捗。 ・メンテナンスは安定して増加	
韓国	・景況感に改善は見られないが、大型ボイラの販売が堅調(上方修正)。	
中国	・景気減速により、ボイラ販売台数が伸び悩み(下方修正)	
その他 (ASEANほか)	・上期は低調に推移しているが、下期に売上が集中。	
海外事業	・保守契約件数は堅調に増加	



3. 株主還元



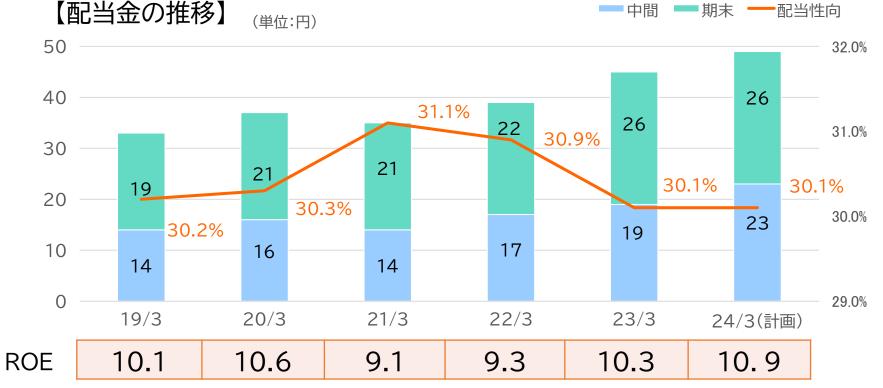
- ①安定的な配当増の継続
- ② 連結配当性向30%を目処

 22年3月期
 23年3月期
 24年3月期(計画)

 中間 17円
 中間 19円
 中間 23円

 期末 22円
 期末 26円
 期末 26円

 合計 39円
 合計 45円
 合計 49円



経営目標 ROE 10%以上維持

【ご参考】発行済株式総数(自己株式除く) 110,417,976株、 自己株式数 14,873,136株 ※2023年9月30日時点

MIURA CO., LTD. All Rights Reserved.



4. 中国事業の進捗と今後の見通し

三浦工業株式会社 取締役常務執行役員

海外事業統括本部長 兒島 好宏 2023年11月22日時点

MIURA CO., LTD. All Rights Reserved.



2023年9月期実績および2024年3月期見込



ミウラ中国 戦略

- ①環境規制に影響のない、省エネ提案による 他社ガス焚きボイラ入替戦略 ガスーガス戦略
- ②業種戦略「メインターゲット4業種」 食品・乳業・化学(電池含む)・製薬 ①好調な業種
 - ②内需産業

下方修正要因(▲9億)

- ①景況感の悪化により、設備投資需要の低下 が好調業種にも影響し、機器販売台数が伸 び悩んでいるため。
- ②メンテナンスは計画通り進捗。

MIURA CO.,LTD. All Rights Reserved.



中国の概況



2060年カーボン ニュートラル (温室効果ガス排出量を実質ゼロ!)は維持し、安定成長を目指す

- ・9月までの再生可能エネルギー累計設備容量が13億8400万kwhで全電力設備容量の 49.6%を占め、火力を上回った。(水力:4億kwh、風力:4億kwh、太陽光5億kwh)
- ・経済政策の突然の変更や、「国家安全」の重視により、民間企業にとって政策の不 透明感が強まる。民間企業従業員拘束や反スパイ法改正ではルールに抵触する明確 なガイドラインが示されず、政策不透明感を受けて民間企業のマインドは慎重化。 コロナ禍で収益悪化の影響も残る中で企業は投資を抑制

<u>中国経済</u>(景気の停滞感が強まる→金融緩和へ)

- ・中国財新製造業「景況感」PMI指数 9月50.6 10月49.5と、3カ月ぶりに境目の50を下回った。 軟調な外需により販売の伸びが鈍化し、生産が減少した。新規輸出受注は4カ月 連続で減少している。中国経済は底入れの兆しを見せているが、需要は弱く、国 内外に多くの不透明感が依然としてあり、期待感が引き続き比較的弱い雇用も2カ 月連続して低下している。
 - ⇒環境規制は少しづつ規制→緩和・期限の延期をする地域も見られる
- ・貿易摩擦の影響で中国国内の生産活動が下振れへとアメリカ輸出対応で海外移転企業が出始めている(外資・中国企業)

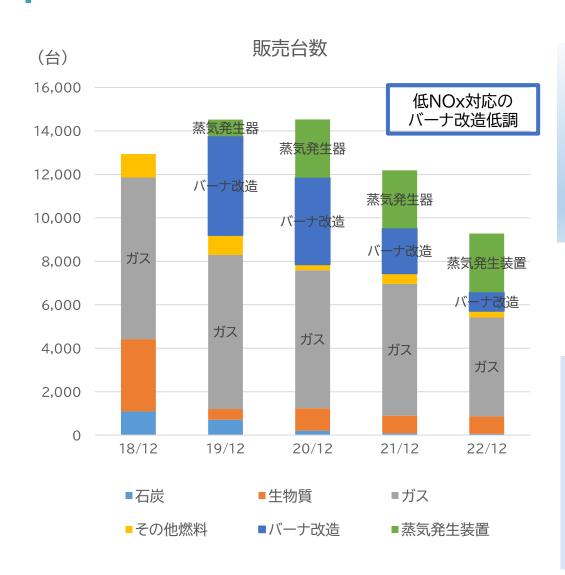


中国の市場

政治的要素	ゼロコロナ政策は解除されたが、景気停滞、設備投資低迷	S
環境政策1	環境規制(石炭・生物燃料のガス化) 規制が進んでいない	\searrow
環境政策2	低NOx規制(バーナ改造) 規制が進んでいない	\searrow
環境政策3	排水・排気規制で工場移転(地方へ)	
環境政策4	新エネルギー(水素等)の研究開発を推進 ボイラ用途はまだ先	
貧困対策	農業・漁業の工場化(食品加工・キノコ栽培)	
COVID19 の後遺症	業種、企業で明暗が分かれる(淘汰が始まった業種もある)	\leq
食品業界	加工品・エキス・健康食品・家庭向け加工品 国内の健康志向上昇	
機械業界	ガソリン車は大幅減・自動車用電池製造の原料価格低下	\searrow
繊維染色	アジアへ生産移転	\leq
段ボール	自宅配送の増加・小規模企業の淘汰原料アップで収益悪化	\searrow
製薬	飲み薬・健康関連(漢方・ビタミン剤・エキス)	



中国ボイラ市場の変化(1月~12月)



2021年と2022年との比較

ボイラ市場全体の特徴

- ・設備投資需要の減退・コロナの影響で 販売台数が減少
- 投資判断基準の1.5年回収が継続
- •石炭焚きボイラ販売台数は低調 販売許可は35トン以上の大型のみ
- ・ 蒸気発生装置販売台数は堅調
- ・ガス焚きボイラ販売台数が減少



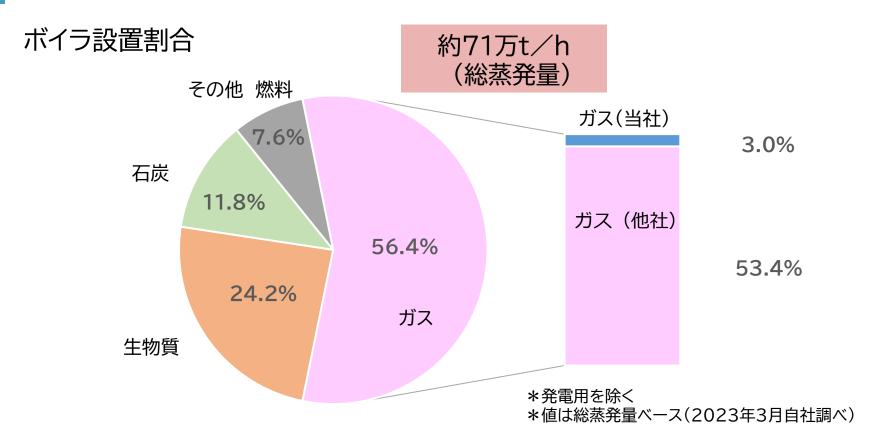
他社ガスボイラ入替戦略の継続

2023年の傾向と対策

- ◆環境規制は一部80トン以下のガス化 【具体策など】
- ・6月より6トンボイラの販売開始し大容量需要の市場への拡販
- ・蒸気発生器の保有水実測による規制強化 (20%が無検査⇒Ð級ボイラ移行)
- ・省エネ提案内容の拡充(煙道熱交換器取付、温水利用など)
- ・通信可能台数増加による、効率化



中国ボイラ市場の現状(燃料別)



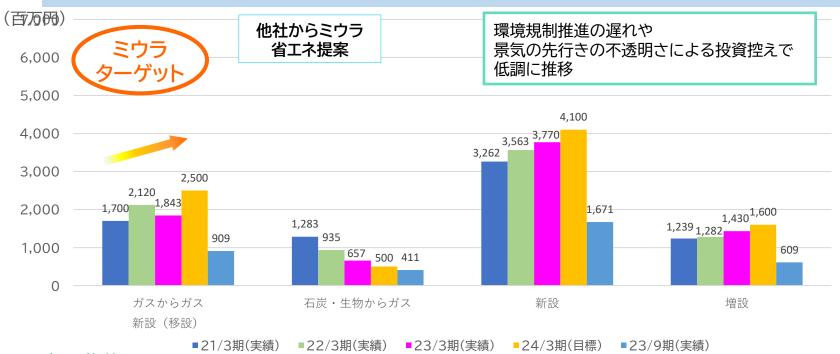
- ※石炭からガス化により、必要ボイラ容量が減少(前年度約80万t/h) (負荷対応により、石炭ボイラの場合は大きいサイズが設置されているため)
- ※ガス化により、ガスーガス戦略のターゲットボイラ市場は拡大している
- ※一部地域の石炭大容量ボイラのガス化規制
- ※蒸気発生器の販売店攻略実施



ボイラ納入区分推移(ミウラの納入先分析)

◆ガスーガス入替提案が低調

【課題】お客様の投資回収期間1.5年が継続 【具体策】省エネ効果の可能性が高いお客様への重点営業 燃料価格上昇に伴い、1.5年回収可能なお客様へ見積の再提出 キーマンへの説明実施(長期視点で判断)



新設物件

- ・車載電池の新築工場が増加(6tボイラ投入による大型市場に参入した成果)
- ・環境規制(排水規制、化学工場規制)、コスト削減(税制優遇、燃料、人件費)により工場移転が増加
- ・排水処理設備からの消化ガス利用ボイラの新設受注の増加(NOx値30mg対応)



中国ボイラ市場業種分析(ミウラの業種分析)

ターゲット業種の2022年度実績(対昨年度比) 食品 / 製薬 / 段ボール→ 飼料 \>

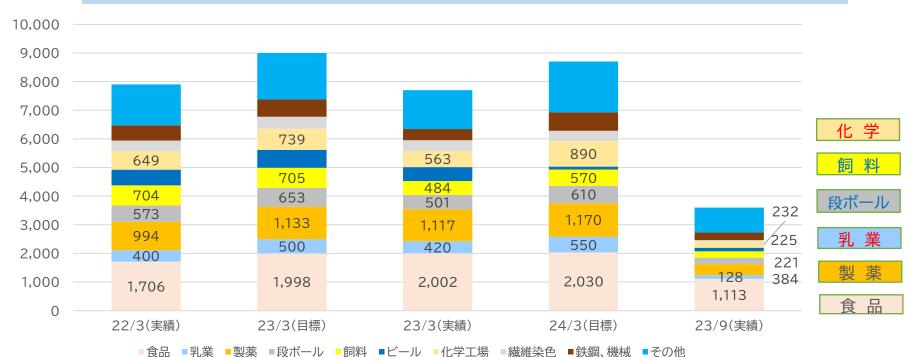


2023年度 ターゲット業種変更 食品・乳業・化学(電池含む)・製薬!

【課 題】 景気の悪化

- ・製薬業界はコロナ感染が落ち着き市場の見極めをしている企業が増加
- ・飼料業界は輸入原料の高騰の影響で、業績悪化で淘汰してく可能性大
- ・段ボール原紙の価格アップがあり価格転嫁できない状況

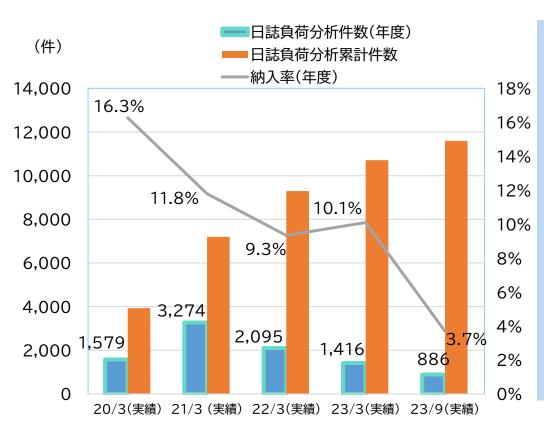
(百万円) 【具体策】攻略業種でも業績差が出ており訪問件数の増加と、省エネ提案品目の拡大





ガスーガス戦略の具体的な施策(営業の強化→省エネ提案)

他社ボイラの日誌負荷分析を行い、より効率の良いシステムを提案する



【現 状】

・経済の先行きの不透明さにより、 設備投資意欲が減退。 投資回収期間が1.5年以内で無いと、 投資の決断に進まない。 ※参考値(分析結果) 1.5年以内回収可能ユーザーは7.9% 3.0年以内回収可能ユーザーは59.3%

【具体策】

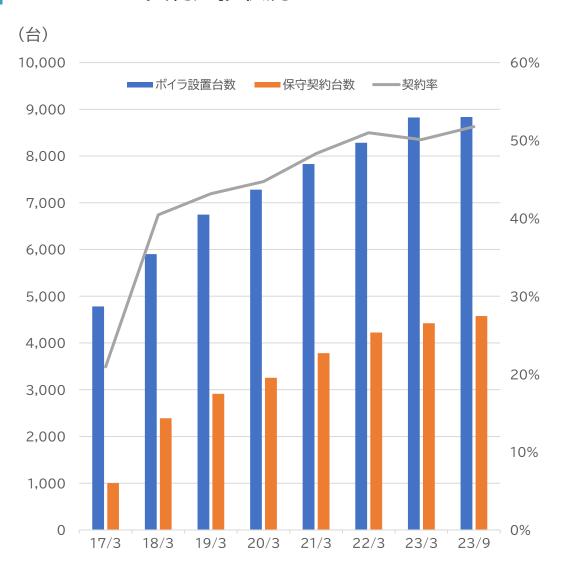
- ・負荷分析ターゲットの大容量化
- ・負荷分析により蓄積された情報から 燃料価格アップにより、再提案できるお客 様の洗い出し。(※グラフにはこちらの件数 は含まれておりません。)
- ・リース、BOT提案など お客様の要望に合わせた販売形態を提案。

日誌負荷分析件数を増やし、ガス一ガス入替実績に繋げる行動を継続する

MIURA CO., LTD. All Rights Reserved.



メンテナンス契約進捗状況



【メンテナンス契約戦略】

- ・2017年より新規販売時に 契約取得を必須化
- ・1年目は特別価格で販売
- ・ZMPプログラム キーマンへの報告 負荷分析 水質チェックなど → 顧客満足度アップ → 再契約率アップ

【現在】

- ・新規販売案件は通信を必須化
- ・既設ユーザーへ通信装置拡販
- ・オンラインメンテナンスの 有効性をユーザーへ 理解してもらう(再契約率向上)
- ・メンテナンスの行動効率改善



5. メンテナンス事業の進捗

~コンプレッサおよびランドリー事業~

三浦工業株式会社 執行役員 FE戦略ブロック長 宮本 治

2023年11月22日時点



コンプレッサー保守契約内容

安 心 1

24H·365日対応

*全国約100拠点からクラウド通報を受信し駆け付けます! *出向費・技術費は契約に含む! 安心 2

定期点検+節電·CO2削減

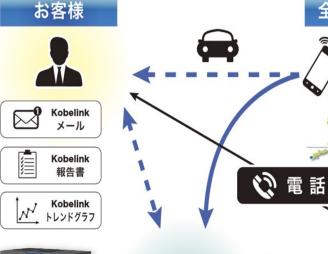
全国100拠点1,200名以上

*ミウラフィールドエンジで定期整備、点検サイクルもミウラで管理、 点検忘れの故障も抑制

安心 3

見える化

- *機器リアルタイムモニタ、 月報、異常履歴等
- ※熱回収式電動エアコンプレッサVAの場合は、ミウラオンラインメンテナンスとなります。



安 心 **4**

部品保証

*KCC製圧縮機 の部品・圧縮機 本体の保証!



+€

loTクラウドサービス

(本社)メンテサービスセンター

安心

省力化

- *オイル交換もミウラで対応
- *クラウドで運転管理業務の低減
- *修理依頼業務の低減 等

安心 6

メンテナンス マニュアル

トレンドグラフ

コスト平準化

*定額、経費安定!

MIURA CO., LTD. All Rights Reserved.



コンプレッサ保守契約取得状況(2022年10月開始)

	2023年度2Q
エアコンプレッサ累計販売台数	341
契約対象機種台数(累計販売ベース)	158
契約取得台数(内示含む)	117
契約取得率	74%

取得率が高い要因

- ①保守契約のコストパフォーマンスが良い (24h365日対応の安心感)
- ②設備担当者不足の解消(特に食品業界の中規模工場では定年退職と採用難)
- ③ライフサイクルコストの削減 (電力コストの最適化のための点検の必要性)

お客様の要望により、対象機種が拡大



アイナックス稲本のメンテナンス事業状況

故障後の修理から、予防保全の提案強化により定期点検などが増加

	2023年度2Q
メンテナンス提案売上高(百万円)	802
定期点検(累計件数)	157

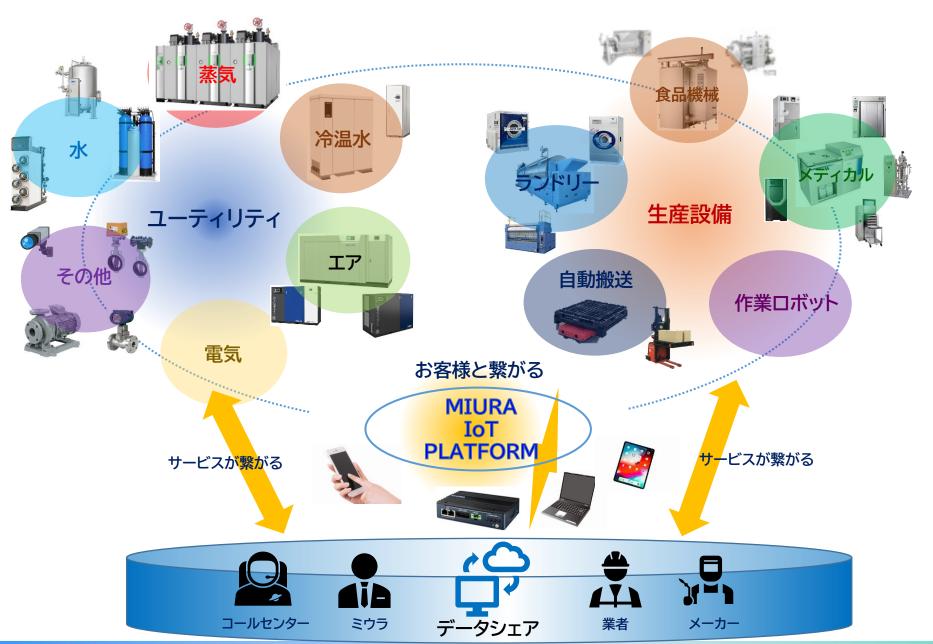
增加要因

- ①定期点検取得提案を1昨年度より開始
- ②コロナ禍からの回復で設備稼働が上昇し、お客様の設備を 止めたくないニーズが上昇



お客様・社員(営業・FE)の中で定期点検の重要性が浸透 定期点検の増加により消耗品の販売も増加





その技術に、愛はあるか。

その商品に、愛はあるか。

そのサービスに、愛はあるか。

いつも自分に問いかけること。

ミウラは、そうやって生まれてくる。

そのひらめきに、愛はあるか。



6. Appendix

- 1. セグメント別売上収益推移
- 2. (国内)事業別売上収益推移
- 3. セグメント別営業利益推移
- 4. 地域別売上収益推移
- 5. キャッシュ・フロー推移
- 6.設備投資、減価償却費、研究開発費推移
- 7. 為替レート推移

◎ランドリー事業につきましては、中心となっていたアイナックス稲本株式会社が2024年3月期より持分法適用会社となったことに伴い、次頁以降はアイナックス稲本についての情報を【ご参考】として表示しております。

2023年11月22日



1.セグメント別売上収益推移

単位:億円

	十位							ב ויפון - ב		
	2020年 3月期2Q	構成比 (%)	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)	2024年 3月期2Q	構成比 (%)
国内機器販売	299	44	264	44	278	42	346※	50※	329※	48%
国内メンテナンス	161	24	168	28	180	27	186	27	198	28
海外機器販売	93	14	89	14	100	15	113	16	120	17
海外メンテナンス	29	4	33	5	36	6	45	7	52	7
ランドリー	92	14	58	9	65	10	- *	-*	-*	-*
合計	677	100	615	100	662	100	692	100	701	100
【ご参考】 アイナックス稲本 含むランドリー	92	_	58	_	65	_	63	_	102	_

※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期 第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。 それに伴い、2023年3月期第2四半期の連結財務諸表を遡及修正しております。



2.(国内)事業別売上収益推移

単位:億円

									•	122 1/6/1 3
(国内) 事業別 売上収益推移	2020年 3月期2Q	構成比 (%)	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)	2024年 3月期2Q	構成比 (%)
ボイラ	299	54	260	53	295	56	296	56	318	60
アクア (水処理機器)	19	3	26	5	32	6	33	6	38	7
舶用	57	10	62	13	44	8	53	10	53	10
食機・ メディカル	56	10	50	10	58	11	59	11	63	12
ランドリー	92	17	58	12	66	13	- ※	- ※	- ※	- ※
その他(ランド リー・特機・新事 業・環境等)	31	6	35	7	30	6	92※	17※	56※	11※
合計	554	100	492	100	525	100	533	100	528	100
【ご参考】 アイナックス稲本 含むランドリー	92	_	58	_	65	_	63	_	102	_

※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期 第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。 それに伴い、2023年3月期第2四半期の連結財務諸表を遡及修正しております。

MIURA CO., LTD. All Rights Reserved.



3.セグメント別営業利益推移

単位:億円

	2020年 3月期2Q	構成比 (%)	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)	2024年 3月期2Q	構成比 (%)
国内機器販売 (営業利益率:%)	24 (7.6)	28	16 (5.8)	20	24 (8.4)	27	22 (6.2)	24 ※	26 <u>%</u> (8.0)	26 ※
国内メンテナンス (営業利益率:%)	47 (29.2)	54	50 (29.9)	63	50 (28.0)	55	53 (28.6)	57	56 (28.3)	57
海外機器販売 (営業利益率:%)	7 (8.2)	9	7 (8.0)	9	8 (8.5)	9	11 (10.4)	12	10 (8.4)	10
海外メンテナンス (営業利益率:%)	2 (9.8)	3	6 (17.9)	8	6 (18.0)	7	7 (16.0)	7	7 (14.0)	7
ランドリー (営業利益率:%)	5 (5.7)	6	0.1 (0.2)	0	2 (3.5)	2	- <u>*</u>	- ※	- <u>※</u> (—)	- ※
合計 (営業利益率:%)	87 (12.9)	100	80 (13.0)	100	92 (14.0)	100	93 (13.5)	100	98 (14.1)	100
【ご参考】 アイナックス稲本 含むランドリー 営業利益率	5 (5.7)	_	0.1 (0.2)	_	2 (3.5)	_	△0.3 (—)	_	11 (10.9)	_

※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期 第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。 それに伴い、2023年3月期第2四半期の連結財務諸表を遡及修正しております。



4.地域別売上収益推移

単位:億円

									'	17T - 1/001 7
	2020年 3月期2Q	構成比 (%)	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)	2024年 3月期2Q	構成比 (%)
日本	554	82	492	80	524	79	532	77	528	75
米州	25	4	21	3	30	4	45	7	50	7
韓国	38	5	40	7	38	6	37	5	43	6
中国	39	6	46	7	44	7	47	7	50	7
その他	22	3	17	3	24	4	28	4	28	5
海外合計	123	18	124	20	137	21	159	23	173	25
合計	677	100	616	100	662	100	692	100	701	100



5.キャッシュ・フロー推移

単位:百万円

	2020年3月期 2Q	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q
営業活動CF	6,195	10,003	7,496	4,058	6,552
投資活動CF	△1,397	△6,715	∆3,722	∆3,558	2,008
フリーCF	4,798	3,288	3,774	500	8,560
財務活動CF	△4,327	△4,140	△4,141	△4,757	△10,302

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
営業活動CF	18,121	22,982	19,442	17,844	_
投資活動CF	△10,300	△11,073	△14,481	△12,535	_
フリーCF	7,821	11,909	4,961	5,309	_
財務活動CF	△8,978	△7,991	∆3,389	△13,766	_

MIURA CO., LTD. All Rights Reserved



6.設備投資、減価償却費、研究開発費推移

単位:百万円

	2020年3月期 2Q	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q
設備投資(使用権資産除く)	2,311	1,701	1,981	1,265	1,291
減価償却費	3,234	3,353	3,410	3,534	3,286
研究開発費	1,497	1,367	1,333	1,391	1,564

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (計画)
設備投資(使用権資産除く)	4,570	3,646	3,847	2,869	3,304
減価償却費	6,580	6,733	6,879	7,033	6,651
研究開発費	3,578	3,165	2,905	3,353	_

MIURA CO., LTD. All Rights Reserved



7.為替レート推移

平均レート

	2020年2月期	2021年2日期	2022年2月#	2022年2月#	2024年2日期	共2の様は参	ナ -ソレード
通貨	2020年3月期 2Q	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前2Q増減率 (%)	2024年3月期 計画
USD	108.60	106.93	109.81	134.03	141.06	+5.2	137.00
CAD	81.73	78.72	88.30	103.84	105.13	+1.2	103.00
元	15.68	15.26	16.99	19.89	19.75	△0.7	19.80
NTD	3.49	3.61	3.94	4.49	4.53	+0.9	4.40
WON(100W)	9.22	8.89	9.65	10.32	10.75	+4.2	10.30
ルピア(100Rp)	0.77	0.73	0.77	0.91	0.94	+3.3	0.91
ブラジルレアル	27.56	19.91	20.75	26.36	28.75	+9.1	26.30
メキシコペソ	5.64	4.72	5.49	6.66	8.13	+22.1	7.10
タイバーツ	3.49	3.38	3.42	3.79	4.05	+6.9	3.70

熱・水・環境のベストパートナー



お問い合わせ先

三浦工業株式会社 創合企画部

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL https://www.miuraz.co.jp/